世界の情勢(ヨーロッパ) I

科目ナンバリング ARS-103
【IV】 選択 2単位

佐藤 嘉寿子

1. 授業の概要(ねらい)

本講義は、EU(欧州連合)が進めてきた深化と拡大に基づいてヨーロッパの経済について理解を深めることを目標にし、EUに焦点を当てながらヨーロッパ統合の成果とともに直面している問題について考察します。現在のEUは、2008年の世界金融危機以降、ギリシャ危機やユーロ危機を経て、イギリスのEU離脱とコロナ禍というかつてない厳しい状況に直面しています。その諸問題の根源を、ヨーロッパが統合を進めてEUを形成する歴史的経緯やEUの仕組みを踏まえながら考えていきます。授業の出席者には、ヨーロッパに対する興味や関心が深まるとともに、知識を修得することを希望します。

2. 授業の到達目標

- ・EUの加盟国の国名と位置と共に、EUの基本的知識を修得する。
- ・EUの組織構造と共に、欧州統合の歴史的経緯や制度を理解してその問題点を指摘できる。
- ・EUに関する新聞記事やニュースの内容を理解できる。

3. 成績評価の方法および基準

授業内容に関する課題60%、締め切り後の提出は減点します。期末レポート40%、締め切り後の提出は受け付けません。すべて、LMS上での提出になります。

4. 教科書・参考文献

教科書

テキストは使用せず、必要に応じて資料を配布します。参考文献等は、授業中に随時紹介します。

参考文献

田中・長部・久保・岩田著 『現代ヨーロッパ経済』(第5版) 有斐閣アルマ 2018年
政治・経済教育研究会編 『政治・経済用語集』 山川出版社 2019年

5. 準備学習の内容

準備学習は以下の通りです。授業は各自の予習を前提に進めます。

- ・事前にLMS上にレジュメを公開します。予習としてレジュメに目を通し、わからない用語等について調べておいてください。
- ・参考文献を読み、授業内容を確実に理解してください。
- ・授業中に紹介する本や資料を読み込んでください。
- ・授業内容であるEUに関する新聞や雑誌の記事、テレビ等のニュースに目を通すように心がけてください。

6. その他履修上の注意事項

- ・毎回の出席は必須です。授業は講義形態で行います。
- ・LMSの連絡事項、公開されたレジュメや資料を必ず確認してください。
- ・レジュメは未完成の状態で開催しますので、授業中に完成させてください。レジュメの完成版の配布はありません。
- ・レジュメ(未完成版)や資料の一部は授業内に配布し、テキスト以外の参考文献も紹介します。
- ・授業の妨げにならないよう、授業中の私語は慎んでください。
- ・国際情勢の動向により、授業内容を変更することがあります。
- ・秋学期の「世界の情勢(ヨーロッパ)II」を受講する人は、必ず「世界の情勢(ヨーロッパ)I」を受講してください。

7. 授業内容

- 【第1回】 ガイダンス、授業の進め方、講義内容の紹介
- 【第2回】 欧州統合に至る経緯について
- 【第3回】 EUの歴史、その統合プロセスについて
- 【第4回】 EUの歴史、その独自性及び欧州統合の意義について
- 【第5回】 欧州における関税同盟及び経済統合について
- 【第6回】 EUにおける域内市場の形成について
- 【第7回】 欧州における市場統合について
- 【第8回】 EUにおける通貨統合のプロセスについて
- 【第9回】 EUにおける共通通貨ユーロの導入について
- 【第10回】 EUにおけるユーロ導入の問題点についてとその問題点について
- 【第11回】 EUの金融とその制度変化について
- 【第12回】 EUが直面する諸問題、イギリスのEU離脱について
- 【第13回】 EUが直面する諸問題、EU内の格差について
- 【第14回】 EUが直面する諸問題、EUの今後の行方について
- 【第15回】 春学期のまとめ(オンライン授業)